

業種別景況予測

2019年4月～6月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「先行き不透明にて困惑している」とのコメントが寄せられた。平成31年3月度日本チェーンストアによると、全国的には、毛布パット、枕は好調だったが、羽毛布団、敷布団、布団カバーなどの動きは鈍かった。			
繊維 ファッション			「インバウンド向けのホテルの建設が好調であり、関連受注が1～3月に集中したが、4月以降、落ちつく模様」とのコメントが寄せられた。日銀さくらレポートによると、個人消費は、温暖な日が続くもとで、春物衣料の動き出しが早まり、婦人服を中心に衣料品の販売が持ち直している様子。			
工業			「業界として外国人技能研修制度対象作業の追加を申し入れることを検討している(製缶板金業)」 「工場の倒産や社長の引退により、工場のM&Aの話をよく耳にするようになった(食品製造業)」 「若手社員の人材不足、育成が難しい」とのコメントが寄せられた。			
建設			「工事原価の上昇が著しい」「同業者の減少による人手不足のため、今後外国人雇用を検討していく」「前年度の台風被害の影響により動いている」とのコメントが寄せられ、特に人手不足のコメントが顕著であった。日銀さくらレポートによると、個人の住宅投資として、持家の着工は消費税率引き上げ前の駆け込み需要で、再び増加に転じているほか、分譲戸建は、駆け込み需要の取り込みを企図した着工の動きがみられていることから、持ち直しつつある。			
運輸倉庫			「人員不足で欲しい人材が集まらない」「燃料が少しずつ値上がりしている」「昨年度の台風被害の後から商品が飽和し、多くの企業が空物件を探している」「満庫状態であるが、荷物の動きが悪い。今後値上げに向けて、荷主に対して働きかけを行う」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「昨年度の自然災害の多発により各保険会社も収益が圧迫されており、今年度火災保険等の値上がり必至である(保険業)」 「働き方改革が進み、建設業、特に個人事業主の方に対する元請からの保険関係に加入の要望が多い(行政書士業)」 と取り巻く環境が景況を左右しているとのコメントが寄せられた。			
一般商業			「太陽光発電所を中心とした雑草処理、環境処理業界からの引き合いが増えている(薬剤小売)」 「『令和』の新しい時代を迎えて、売上の増加に期待している(食品小売業)」 とのコメントが寄せられた。また、全体的に消費増税の影響を懸念している様子。			
サービス業			「高齢のお客様が減少しているが、若年層のお客様も増えない(スポーツ施設提供事業)」 とのコメントが寄せられた。また、見通しが悪化の状況とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成31年3月 ●調査対象企業 285社 ●回答数 122社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援課 TEL 0725-23-1111